

2022-23 年度 RI 会長 シェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランド RC) 第 2820 地区ガバナー大野邦夫 (つくば学園 RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 7. 14
第 2019 回例



会長 山口憲生 会長1対1 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12

今月は新年度のスタートの月です

会長挨拶 山口憲生 会長



新年度に入って 2 回目の例会ですが、先週末、安倍元首相が凶弾に倒れ亡くなりました。このことで世界中騒然としています。犯人の動機、背景などまだよくわかりませんが、人への恨みだと供述しているようです。つけても人の持つ価値観(感情)がこんなことを引き起こし得ることをよくよく考えねばなりません。

翻ってロータリーは今、DEI つまり多様性、公平さ、インクルージョン(包容性)の価値観を提唱していることはご承知の通りです。これらは世の中の平安の基(もとい)と思うのですが、とらえようによっては誤った望まぬ方向になることにも考えねばならないようです。例えば、多様性を誤ってとらえると、様々な違いの間に分断、対立が生じ、それが恨みのような感情を生みかねません。これを和らげるには互いに認め合うこと、我を我をと自分ばかりを認めるよう要求するのではなく、相互にです。ここにロータリーの超我の奉仕の思想が生きるし、生かさねばなりません。

先週末の早朝、新井直前ガバナーのお誘いで Blue Santa,2022 久慈浜ビーチクリーンという海岸清掃活動に参加しました。昨年度のロータリーデー世界海岸清掃活動のきっかけとなった活動だそうです。集まった数十人のメンバーとその家族は平穏な表情で参加してい



ます。これぞ奉仕の姿でしょう。(写真参照)

今日と次回例会はクラブ協議会として各委員会が今年度の事業計画と決意を発表する場です。今年度の活動のスタートとしてよろしくお願ひします。

さっそく日立 RC から、しいのき学園のプランター販売支援の要請、それに社協から夏季フードパントリーへの物品提供依頼があります。奉仕活動に休みはないようです。

例会報告

開会点鐘 山口憲生 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

山本良和様 (日立 RC)
佐子幸治様 (日立 RC)
米山奨学生準世話クラブ 幹事
澤島英樹様 (日立中央 RC)
米山奨学生 ハニフさん
ようこそいらっしゃいました。

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	23	69.70%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日2名出席)	10	100.0%

本日の食事メニュー: てんぷら・ソーメン

にこにこBOX 報告 山口彰二 SAA

目標 1,266,000 円
人頭分担金 210,000 円
トータル 219,000 円

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・米山世話クラブ・準世話クラブ・校友会・合同セミナー開始のご案内
- ・2022-23 年度青少年長期交換プログラム 長期交換派遣（2023 年 8 月出発）学生の募集
- ・前期地区分担金振込みについてのお願い
- ・令和 4 年度日立国際交流協議会会費の納入について
- ・日立市青少年育成推進協議会第 1 回地域活動部会について（報告）
- ・子どもフードパントリーへの協力依頼について
- ・第 58 回日立市美術展覧会のポスター掲示のお願い
- ・新年度に当たり各クラブへの文書配信のお願い
- ・ハイライトよねやま 268 号

委員会報告

【社会奉仕委員会

照沼明美委員長

子どもパントリーへの協力依頼が、当クラブ平田伸一会員の知人を通して届けられました。本年 2 月に同様の依頼があり平田博之会員事業所からのコロナ対策マスク提供はじめ、いろいろな食品類を提供した実績がありますが、この度も当クラブとして協力したいと思います。ついては下記により会員各位の協力をお願いします。

1. この事業の趣旨等 添付の依頼状及びチラシ参照（18 歳以下の子どもを養育するひとり親世帯、要保護世帯等への食品等無料提供）
2. 主催 日立市社会福祉協議会
3. 配布会開催日・場所 7 月 23 日（土）14 時～16 時 多賀市民プラザ広場
4. 収集方法 7 月 21 日（木）例会までに「美かの」に会員各自持参。その後社会奉仕委員会ほか有志にて同協議会に届ける。
5. 対象の品物 コメ、レトルト食品、缶詰、乾麺、乾物、菓子などで、賞味期限が 2022 年 9 月以降、未開封のもの

【古川英希ゴルフ幹事】

7 月 18 日（祝月）開催予定、夏の親睦ゴルフコンペの組合せは、本日メールでお送りします。

ビジター挨拶

山本良和様・佐子幸治様（日立 RC）

『しいの木学園』（障害就労支援施設）の行っている寄せ植え定期便の事業に市内 5 クラブで協力しようというものです。『しいの木学園』で製作した『寄せ植えプランター』を購入された方の自宅または会社まで配達し、さらに三か月ごとに新し



い花を入れ替えるというシステムです。一度の購入で一年間四回の花が楽しめるというものです。プランターの表面に木製の名札が付きます。名札にはロータリークラブの名称または会社名・個人名を入れることができ、宣伝効果を上げることができます。障害を持たれている方たちが製作をしても売り先がない、何のために製作しているか見えてこない等の問題を抱えているそうです。そこでロータリークラブで購入または販売先の紹介などで、障害者の方の制作意欲を引き上げることができると考えます。又障害者の方との人的な交流も生まれます。どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。



米山準世話クラブ
幹事 澤島英樹様（日立中央 RC）



米山奨学生 ハウリさん
山口会長から 7 月分米山奨学金が交付されました。

本日のプログラム 第 2 回クラブ協議会
委員会事業計画発表 I

山口憲生会長

会報・雑誌委員会

神山靖基 委員長



1.活動方針

今年度 RI テーマ「イマジン ロータリー」、地区スローガン「enjoy life ～人生を楽しむ～」を踏まえ、「クラブ会報」で情報の記録・共有を行います。

また、当委員会の活動を通じてクラブ活動の活性化に貢献します。更に、会長方針「Sympathy 同感・共感」を踏まえ、「ロータリーの友」や「ガバナー月信」等の公式地域雑誌の内容について会員の関心・共感を喚起すべく紹介に努めます。

2 事業計画

1) 会報は、事務局と連携し、原則として毎週例会日（木曜日）に発行します。

奉仕活動、各種行事、家族懇親会等のクラブ活

動状況や話題が会員及びご家族にタイムリーに伝わるように努めます。

会報用紙は A3 版二つ折り、裏表両面で 4 ページを原則とします。但し、掲載内容が多い場合は増ページも検討します。会報校正は、会報作成ノウハウの伝達・蓄積を図りながら会報・雑誌委員会委員が輪番(3ヶ月単位)で行います。また、編集後記は会報発行毎に委員の輪番で対応します。各委員会・委員は、活動状況等の原稿作成(例会発表後の提出含む)にご協力の程、宜しくお願い致します。

2) クラブ例会で定期的に「ロータリーの友」や「ガバナー月信」の記事内容の紹介に努めます。

3) 地区スローガン「enjoy life ～人生を楽しむ～」にちなんで、200～600 字程度のコラム“My enjoy life”を、一年を通じて募集します。気軽に会報に投稿頂くことで、会員間で enjoy を分け合います。(投稿は任意)

4) 「ロータリーの友」にクラブ事業記事を投稿し、記事を通じてクラブ活動の PR と活性化に努めます。

会員組織委員会

鈴木崇久 委員長



1.活動方針

2022-2023 年度 RI テーマは「想像してごらん IMAGINE ROTARY」です。また第 2820 地区ガバナーは、今年度の地区スローガンとして

「enjoy life ～人生を楽しむ～」を掲げています。

山口会長はこれら方針の実践をクラブ運営方針とし、特に会員増強(かつ退会防止)インターアクトクラブ・ローターアクト支援活性化を掲げています。

会員同士が互いを認め、尊重できる例会、情報集会、卓話、親睦懇親活動、プロジェクトの実践を通して、新型コロナ禍で停滞気味のクラブ活動を復興活性化させることに力を注ぎ、かつ分区インターアクト年次大会の成功を叶えられる組織造りを目指していきたくと思います。

2.事業計画

- 1) RI テーマ・地区目標に則り、奉仕活動の実践と数値目標の達成を図る
- 2) 会員数の増加を図ると同時に退会防止に努める
- 3) 茨城キリスト教学園高等学校インターアクトクラブ(インターアクト年次大会)へのバックアップ、並びにインターアクト・ローターアクトへの

支援と交流を図る

- 4) 「ロータリー賞」獲得に向け、その必須項目を実践する。

会員増強委員会

小泉浩一 委員長



1.活動方針

ロータリークラブの更なる活性化のため会員増強は、常に必須条件であります。クラブの精神に共感を覚える地域の方々を増やし会員維持・増強につなげて参ります。また、全会員に増強の意義を理解して頂き会員一人ひとりの協力のもと活動して参ります。このことを基準に『純増 2 名』を目標に、委員相互の連携と全会員の協力により目標達成に努力します。

2.事業計画

- 1) クラブ全会委員の知人等に見込みある人材をリストアップして名簿の作成をします。作成後、適任な会員と共に入会の勧誘に努めます。
- 2) 会員増強は永遠のテーマであり、各会員がクラブの未来を考え各自が増強委員であるという認識を持ってもらい、年度を超えて継続的に増強に努めるよう啓蒙します。
- 3) 例会での会員勧誘の情報発信、地域在住の会員を中心に友人、知人へのクラブのアピールに努めます。
- 4) 入会案内パンフレット、ホームページの適宜更新を実施してクラブの認知度を高めて参ります。

情報広報委員会

糸賀正俊 委員長



1.活動方針

今年度 RI テーマ「IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー」と地区スローガンである「enjoy life ～人生を楽しむ～」の基、クラブ内における情報交換と共有を目的に新鮮な情報の提供に努める。併せてクラブ会員外の方々に対しても「公共イメージの向上」を目指します。

2. 事業計画

- (1) 活動の基盤となる例会においては、会員同士が活発な情報・意見交換ができるよう、SAA(会場監督)と協力し、開かれた会場づくりに努めます。
- (2) 地区研修や「ロータリーの友」「ガバナー月信」等の情報を活用し、新鮮な価値ある情報を例会で提

供するよう努めます。また、入会歴の若い会員とベテラン会員との交流の場としての会員研修を継続して行います。

(3) 「ロータリーの友」や「ロータリー情報館」への積極的な寄稿やホームページによる情報発信の他、一般の方々にロータリーの魅力、活動内容等を的確に伝わるよう、マスメディア（新聞、TV、ケーブルTVなど）への情報発信チャネルの拡大に努めます。

(4) ホームページの更新回数を増やして、クラブ内外に対しタイムリーな情報の伝達に努め、ロータリーイメージの向上を目指します。

クラブ管理運営委員会

鋤柄純忠委員長



1.活動方針

ロータリーは会員相互の親睦と奉仕活動が車の両輪です。本年度のRIテーマは「Imagine」です。この中には世界の平和を祈る意味が含まれています。差別のない世界、多様性を認め合う世界へ思いが込められていると思います。大野ガバナーの【地区スローガン】は **enjoy life ～人生を楽しむ～** です。【地区目標】は一人一人が想像力を持って奉仕するです。当クラブの会長方針は「Sympathy 同感・共感」としています。そこで今年度の例会外部卓話のテーマを会長方針に従って「Sympathy 同感・共感」としたいと思います。これは RI 会長テーマの「Imagine」通ずるにもものと思います。先行き不透明の世情ですが平和への祈りを込めながらこの一年のロータリー活動が実り多いものになるように各委員会の活動を支援していきたいと思います。

2.事業計画

- (1) クラブ管理運営委員会を開催して 4 つの委員会の連携を図ります。
 - (2) 例会については新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、対面での実施を目標にします。しかし、現況ではズームなどでのハイブリッド例会を継続することが必要でしょう。
- 3.例会その他の機会にロータリーの各情報（クラブの活動・地区及びRI）が確実に伝わるよう、他の委員会や役員に働きかけます。また当クラブの活動実績を地区ホームページの「クラブだより」や茨城新聞の「ロータリー情報館」などに確実に発信できるように働きかけます。さらに JWAY な

どのマスコミにも情報を提供し公共イメージの向上に働きかけていきたいと思ひます。

出席・会場委員会

山口彰二 委員長



1.活動方針

クラブ例会に於ける秩序を保ち、SAA 活動の基本でもある、「楽しい例会、出席率の維持・向上と品位ある会場創り」に努めます。

2.事業計画

(1) SAA

- ① プログラム委員会や親睦活動委員会、奉仕プロジェクト委員会など、関係委員会と事前打ち合わせをしてスムーズで充実した例会となるように努めます。
- ② 例会時の席については、毎回同じ席にならないように、ひたち郷土かるたを活用して会員相互の交流を図ります。
- ③ 訪問ビジターには 3 分程度のスピーチをお願いし、相互理解と親睦を深めます。
- ④ 外部卓話については、講師の要望を伺い適切な卓話時間の確保と準備を行います。
- ⑤ 例会食事に関しては、無駄が出ないように、例会開始 2 時間前までの「欠席の通知」にご協力をお願いします。

(2) 出席

- ① 例会出欠の事前確認を行いますので、会員のご協力をお願いします。
- ② ハイブリッド方式 (ZOOM) 出席の積極的な活用、会議環境改善に努めます。
- ③ 「私と RC」「卓話」は、会員の義務と認識して頂き、原則として年一回実施してもらえようプログラム委員会と連携します。当委員会はそれが確実に実行されるようフォローしますので、皆様のご協力をお願いします。
- ④ 情報集会は、親睦委員会と連携して開催します。例会だけでは不足がちな会員同士の情報交換・親睦、そして若手会員とベテラン会員の融和を図ります。昼の例会に時間の都合で欠席の多い会員を考え、夜の例会も実施します。
- ⑤ クラブ表彰規定に基づき、年度出席率 100%会員と「奉仕部門功労者」を表彰します。

(3) にこにこ BOX

- ① 例会場受付に募金箱を設置し、目標金達成に向

け会員にご芳志をお願いします。「誕生日」「結婚記念日」「卓話」「私と RC」「嬉しい出来事」等メッセージを添えてお願いします。

- ② 家族懇親会の行事には、会員家族の募金協力をお願いします。また出席会員のご家族に対しては思い出に残る記念品を贈呈します。

親睦活動委員会

今野紀仁 委員長



1. 活動方針

クラブ運営方針に則り、「会員相互の親睦と助け合いの精神を深める」一助となる委員会活動を目指します。

- 1) 奉仕の心を支える友情が全会員に広がる親睦を目指します。
- 2) 親睦の輪を会員家族にまで拡大させます。
- 3) 外部卓話講師等の積極的受入れにより、ロータリー活動の理解度向上とロータリアンとしての知識の豊潤化を図ります。
- 4) 趣味を通じて会員、家族、ビジター相互の親睦を深める効果的な場を提供します。

2. 事業計画

1) 例会運営

- ・来訪ロータリアンと外部卓話講師等の外来者を歓迎し、例会で紹介します。
- ・会員の結婚及び誕生を祝し、月初めの例会で記念品を贈呈します。
- ・会員が少しでも多くの例会に参加できるように夜間例会を実施します。

2) 情報集会

例会だけでは不足がちな会員相互の親睦の機会を補うため情報集会を開催します。

3) 家族親睦会の開催

家族親睦会を開催することとし、家族参加呼びかけに努め、その盛会を期するとともに奨学生、LACにも参加を促します。

プログラム委員会

鋤柄純忠 委員長



1.活動方針

当委員会は RI、地区、会長方針に基づきその実現に向けて必要と思われるプログラムを作成し、会員の皆さんと協力して活気あるクラブ活動を展開していくことに尽力して参ります。お互いに顔を合わせての例会開催を目指したいと思います。

なお、本年度はガバナー訪問が例年より早く実施

されます。また IAC 年次大会の当番に当たっています。次代を託す青少年の熱い思いに応えていきたいと思ひます。皆さんの一層のご協力をお願いし充実した年度にしたいと思ひます。

2. 事業計画

1) 卓話は会員卓話を基本に考えています、一昨年より RI の重点目標に「環境」が追加されました、これについては引き続き取り上げていきたいと思ひます。

RI 会長の方針「Imagine」大野地区ガバナーの方針の enjoy life～人生を楽しむ～

当クラブ会長の「Sympathy 同感・共感」の方針を実現できるプログラムを目指します。

今年度の例会外部卓話のテーマを「Sympathy 同感・共感」としたいと思ひます。

この外部卓話を数回予定しています。

2) 会員卓話は企業の情報や職業観、個人の趣味、人生観など自由なテーマでお話しい

だき会員を知り理解するとともにお互いに信頼し合える雰囲気醸成していきます。

3) 「私と RC」は会員の理解、絆に繋がる手段として定着しています。本年度も継続します。しかし、硬い自己紹介が目立っています。近況報告や趣味など身近に感じたことを気楽に話していただきたいと思ひます。

4) 会員卓話・「私と RC」担当者が都合が悪くなった場合は、後の方と調整するか、プログラム委員会に相談願ひます。

3. 年間の例会回数は 44 回です。項目別は次の通りです。

1) クラブ協議会 10 回

2) 通常例会 29 回（夜間例会 2 回を含む）テーマ卓話「Sympathy 同感・共感」7 回、会員卓話は 17 回、外部卓話 4 回（地区委員、米山奨学生、ウクライナ情勢 IAC）、「私と RC」は 15 回を予定しています。

3) 日帰り家族親睦会、11 月予定、今年ではできることを願っています。

4) 特別例会 6 回（地域ボランティア・優良従業員表彰）IM、職場見学 1 泊例会等

5) 例会とは別に理事会 13 回、情報集会 2 回を予定しています。

閉会点鐘 山口憲生 会長

第 25 回インターアクト年次大会情報

太田秀夫インターアクト委員長

7月14日(木)ウクライナ大使が茨城キリスト教学園に来られ、ウクライナの留学生受け入れに対して謝意を表明されたそうです。8月21日(日)の年次大会では「ウクライナでの戦争を考える」と題してウクライナ出身の先生に基調講演を頂く予定であり、今年3月に来日した留学生にも登壇していただく予定です。会場には募金箱を置き、留学生個人にお届けしようと検討中です。

下記 URL をご参照ください。

https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20220715/1070017762.html?fbclid=IwAR28vQ6PZ8JiU-QemRfplnLtXdJF9u7WhbMotd8A41-gJP_t2gngf-PNv5Y

ブルーサンタ 2022 久慈浜ビーチクリーン大作戦



「Blue Santa とは海岸清掃などのボランティア団体で全国組織になっています。赤いサンタはプレゼントをくれるが、青いサンタ

はごみを拾って歩く、というわけ。久慈浜では「ゴミ拾いボランティアブルースカイ」というグループ。Webで「BLUE SANTA ALL JAPAN2022」を検索。また Facebook で「ゴミ拾いボランティアブルースカイ」を検索すれば各々の詳細がわかる。この活動は日本財団が支援しています。」

今週の会場の花
“ 瑠璃玉アザミ ”
花言葉：傷つく心



その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆大野治夫ガバナー公式訪問

8月4日(木) 美かの 12:30~

◆第25回インターアクト年次大会

8月21日(日) 茨城キリスト教学園

出欠確認中。例会場又は事務局まで

今後のスケジュールのご案内

- 7月 24日(木) 久慈サンピア日立
「花火鑑賞例会(家族親睦会)」
- 7月 28日(木) 12:30~ 美かの
「第4回クラブ協議会 公式訪問に備えて」
- 8月 4日(木) 12:30~ 美かの
「第5回クラブ協議会 大野ガバナー公式訪問」
- 8月 11日(祝木) 休会 (山の日)
- 8月 18日(木) 12:30~ 美かの
「外部卓話 鈴木茂美氏 (日立 RC) 」
- 8月 21日(日) 茨城キリスト教学園
「第25回インターアクト年次大会」
- 8月 25日(木) 休会 (7/24 追加のため)

編集後記

幼い頃、月に一度父と本屋さんへ行くのが楽しかったのを覚えている。本ならいくらでも買ってくれた。本を読むのが楽しかった。でもそれ以上に私には楽しみがあった。読み終わるとご褒美に背表紙の裏に父がサインを書いてくれるのだ。芸能人みたいに、豪快に大きなサインを得意げに書いてくれる姿が面白くて、そしてその本を、まるで表彰状のように渡してくれる瞬間が嬉しかったのだ。そのサインを集めて眺める為にいっぱい本を読んだ。息子達が小学生の頃、学校行事の「読み聞かせ」のボランティアを8年間やってきた。毎年何を読んだら良いかな?と図書館へ行って何時間も色々な本とにらめっこする。この「読み聞かせ」の時期になるといつも父のサインの事を思い出す。もうしばらくの間サインを書いてもらってないなあ。と思い、今朝本を手を取った。今度帰省した時にあの時みたいに、また豪快に書いてもらおうと思う。(ご)

発行：日立港ロータリークラブ (翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌栄 五来美奈

平田伸一 中野紀子 (事務局)

URL： <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail： info@hitachi-ko-rc.com